



# きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

## 子供の安全

旭町小学校長 道山 正史

長い夏休みが終わり、今日から1学期の後半が始まりました。しばらくの間、水道の本管直結の工事の音だけが聞こえていた校舎に、子供たちの元気な声が響いて、とてもうれしく思います。この夏は、前半ものすごく暑い日が続きましたが、夏休みもあと1週間というところで急に10月のような気温になり、その後ははっきりしない雨模様の天気が続いています。子供たちが急な気候の変化で体調を崩してしまっていないか心配していました。

さて、これから冬休みまでの間、様々な行事を行います。本校が会場となる6年生の連合水泳記録会を皮切りに、運動会、5年生の下田移動教室、音楽会、展覧会、そのほか各学年に応じた校外学習などなど盛りだくさんです。子供たちがめあてをもって各行事に取り組み、友達と力を合わせて自分のもっている力を十分に発揮して成長して欲しいと思います。

話は変わりますが、この夏、大阪では大変悲しい、そして憤りを覚える事件が起きてしまいました。旭町小学校があるこの地域は、町会、育成委員会、学校応援団、警察、PTAなどをはじめとする様々な方々が一緒になって子供たちの安全を日頃から守って下さっています。例えば、豊溪中学校も参加しての地域の合同パトロールをこれほどの大人数で大規模に行う地域は他にあまり聞いたことがありません。しかし、子供の安全を守るには、まず第一に自分で自分を守るという自覚を強くもたなければなりません。そこが出発点です。そのために学校では毎年行っているセーフティ教室をはじめとして、これまで以上に生活指導を徹底していく所存です。そして各ご家庭でも、日頃から子供たちに注意を促す会話や声かけを、そして地域の方などからの注意や声かけを素直に聞くようご指導を是非お願いいたします。また、ご自分のお子さんでなくとも、気がついたら一声かけていただきたいと思います。地域の皆様にはこれまで同様、この地域の子供たちのために目を光らせていただきたく存じます。これからだんだんと夕方暗くなるのが早くなっていく季節です。互いに声をかけ合って、子供たちの安全を見守ってまいりましょう。よろしくお願いいたします。

